

成果指標				
成果指標	大会参加者の便宜とスポーツの振興			
指標設定の考え方	大会参加を容易にし、スポーツの振興を図る			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	40	38	0	0
実 績	42	38	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	県全域を対象としたスポーツレクリエーション大会や県少年大会への派遣費・参加費を支援し、少年から社会人地域スポーツの振興に寄与した。併せて市民のスポーツ意識の高揚、技術力向上を図ることができた。課題：今後も継続支援に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業は、スポレク祭等の大会参加を支援し、スポーツの振興を図っている。今後はスポーツ人口の拡大を通じてスポーツの振興を図り、市民の健康づくりに寄与していく事は大切なことである。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題